

身体をきれいにする、4種のハーブ

【ヒメスイバ】(sheep sorrel)



アメリカやヨーロッパの古文書の中に、ガンの治療薬としてヒメスイバの名が挙げられていました。古くから伝わるインディアンのガンの治療薬とされる処方「国立がん研究所」へ提出されました。この葉の主成分はまさにこのヒメスイバでした。ヒメスイバは、豊富なビタミンA、ビタミンB-complex (総合B) を含み、特に種子には、ビタミンC、D、E、K、Uも豊富に含まれています。また、カルシウム、塩素、鉄分、マグネシウム、シリコン、ナトリウム、硫黄をはじめ、微量の銅、ヨウ素、マンガン、亜鉛などのミネラルも豊富です。ヒメスイバに含まれるその他の栄養成分としては、葉の茎の中に含まれるカロチノイド(動植物体の赤黄色の色素)と葉緑素(クロロフィル)があります。またりんご酸、シュウ酸、タンニン酸、酒石酸、および抗酸化剤のクエン酸などの、有機酸も含まれています。葉緑素は植物の緑色をつくる物質で、人間の血液中のヘモグロビンによく似ています。テキサスのリナス・ボーリング研究所とアンダーソン病院で行われた研究で、葉緑素液は多くの発がん性物質に対する免疫質をつくり、免疫システムを強化する働きがあることが証明された。また、日本の研究者たちからも、通常、癌の前兆となる染色体の損傷を葉緑素液がくい止めるということを発見したと報告されています。

カロチノイドは、葉緑素の中の不可欠な成分です。ハンガリーの研究者たちにより、ヒメスイバの葉にはカロチノイドが8%以上含有されていることも発見されています。

β -カロチンはカロチノイドの仲間ですが、様々な研究結果に β -カロチンは肝臓でビタミンAに転化されることが証明されています。ビタミンAは白血球を増殖されることにより免疫システムを強化させます。 β -カロチンは抗酸化剤、つまり有害な遊離基の蓄積を制御する働きがあります。ヒメスイバにはこのような数々の素晴らしい成分が含まれております。

【ゴボウ】(burdock root)



バードックの根、ゴボウは、強力な治癒力が発見された11世紀以来、自然の強力な血液浄化剤として世界中で知られていました。今世紀の後半に入ってからハンガリーと日本のガン研究者たちがこれに特に注目しました。1966年には、ハンガリーの2人の研究者が精製したゴボウの成分には「相当な抗腫瘍作用」があると報告しています。

また、1984年には日本の名古屋大学の教授らが、ゴボウには代謝活性要素の有無にかかわらず細胞の突然変異を減少させる物質があることを発見しています。この特性の重要性を認めた日本の研究者たちは、これをバードック効果、すなわち「B

ーファクター」と名付けました。ゴボウは血液浄化剤として、循環系、リンパ系、呼吸系および尿路系の鬱血（うっけつ）を解除させる働きがあります。体内の余分な水分や、有機物質の排除を促進させるため、肝臓障害の改善や消化機能の向上させるのです。胆汁の洗浄効果や腎臓と胆のうから発生する毒素も排除します。ゴボウは発汗を促進しますが、発汗と同時に余分な毒素も排出させる働きがあります。中国でゴボウは、細胞新生と性欲促進の効能があると考えられます。ゴボウと感染症の病気、特に泌尿器・生殖器系の感染性の病気を癒すための利尿剤として、また関節炎、リュウマチ、坐骨神経痛などの治療にも使用されています。ゴボウはビタミンB、E、Pなどに富み、クロム、コバルト、マグネシウム鉄、リン酸、シリコン亜鉛、ナトリウム、カリウム、なども含んでいます。特に根の主成分は炭水化物ですが、残りのほとんどがイヌリン（インシュリンではありません、根の最高 45%）であり、残りには粘液、デンプン、糖分が含まれています。ゴボウの主成分であるイヌリンには、驚くべき治療成分があることが判明しています。イヌリンは体内の各器官を強化すると共にその中に含まれている糖分が血糖代謝を制御します。糖尿病の症状を一掃するのは、おそらくこのゴボウに含まれるイヌリンであろうと考えられます。

イヌリンには、糖の代謝を制御する作用があるからです。研究は、イヌリンが、人間の腸内細菌層を修正することを示しています。それは、有益な腸内細菌層の成長を拡張し、「悪い細菌」を減少させ排除します。ゴボウは病気を起こす細菌を殺す、ポリアセチレンを含みます。従って白癬（はくせん）及び細菌感染症にたいして使用されます。反ウイルスの働きは、反 HIV の活動する薬用植物として、注目されています。イヌリンは、白血球の表面に貼りついて白血球の働きを強化する働きがあるので、強力な免疫モジュレーター（調節器）であるとも言われています。ゴボウはバクテリアと細菌の培養組織を破壊し、強力な抗腫瘍作用があると実証されています。

【アカニレ樹皮】(Slipper elm bark)



アカニレの樹皮は世界中で最もよく知られているハーブ治療薬です。スリペリー・エルム・バーク・すなわちアカニレの樹皮の主要成分は粘液質ですが、粘液質は植物液中に溶解しているゴム質からなる自然に構成された粘着性のある繊維です。アカニレの樹皮に含まれる粘液質は、亜麻仁（アマニ）に含まれているものと似ています。

アカニレの樹皮は、自然界に存在する驚異的な効果をもつからだの浄化剤です。この粘りのある物質は、臓器、リンパ腺、神経系などに蓄積された粘液を分解した潤滑作用によって、からだの細胞膜の内膜（特に傷ついたり、炎症を起こした部分）を軟水化させ保護する働きがあります。利尿効果により増幅した尿と尿路の緩衝剤としての作用もあります。アカニレの樹皮は、この粘着により、骨と関節を滑らかにし、腸などに集積した体内全体の有害な物質を分解し、排泄を助ける役割を担います。この粘

液質は、消化管を通過するとき、粘りけがある皮膜で消化器官を覆いながら通過するため、酸や苦味による刺激を軽減させることで炎症を抑えるとともに、有害な化学物質の進入を遅らせます。アカニレは潰瘍からくる苦痛を緩和しながら、炎症部分の組織を覆う正常な粘膜を復活させて潰瘍を治癒させるのです。アカニレの樹皮は、外用薬としても素晴らしい治癒能力があることが分かっています。粘液質は傷口に浸透しながら傷を覆い、不純物をすり傷や膿瘍、潰瘍から押し流すのです。アカニレの樹皮は、新生細胞の成長を促進させて組織を治癒させる効果もあるといわれています。新生細胞は新しい皮膚となって傷を覆い治癒を早めるのです。アカニレの樹皮を粉末化させ座薬と混ぜて治療したところ、女性生殖器の腫瘍が小さくなったという症例も報告されています。膣の子宮の炎症も、この樹皮を煎じた汁を使用した灌注浴によって回復しています。またアカニレの樹皮には、抗生物質や抗菌薬としての作用もあります。アカニレの樹皮はビタミン・ミネラルを豊富に含んでいます。付け加えてアカニレの樹皮は米国食品医薬品局でもその薬効が認められており、自然界に存在する驚異的な効果を持つ浄化剤です。樹皮の煎じ薬はのどや消化器官の痛みを緩和し、過敏症の胃腸にも安全で、消化器官の炎症を静め、栄養補給の効果もあります。粘質性のあるお茶は胃潰瘍の傷みにも効果があります。穏やかな作用で下痢を治めるので、妊娠中でも副作用を気にせず使用できます。

【ダイオウの根茎】(l n b i a n r h u b a r b r o o t)



ダイオウの根茎は、何世紀もの間世界中で広く使用されてきた驚くべき効果のある解毒剤です。中国では、紀元前220年頃からすでにダイオウの根茎を薬草として使用していました。古来中国では、小腸から余分な熱が放出されると信じられていたのですが、小腸が熱を持つのは、様々な病原となる有毒物が血液中にあることを示す物だと中国では考えられていました。ダイオウの根茎は胆管を刺激して有毒廃棄物を体外に排泄させることにより、同時に胆汁や寄生虫、体内に溜まっている食物などを体外へ排出させることができます。また肝臓の浄化によって、慢性の肝機能障害の症状が緩和された例も証明されています。ダイオウの根茎は消化を助け、食欲を増進させることも分かっています。また、潰瘍を癒し、脾臓や結腸の疾患を緩和させ、上部消化器系の出血治療に役立つことも分かっています。1980年代の研究で、ダイオウの根茎の抽出液には、抗生物質や抗菌剤としての作用と腫瘍を抑える作用があることが判明しました。ダイオウの根茎は、ビタミンやミネラルに富んでいるだけでなく、レインと呼ばれる素晴らしい成分が含まれています。最近、東洋大学医学研究センターで行われた研究によると、レインは腸内の病的細菌の成長を制御することが分かり、熱、炎症、痛みに対しても効果があるといわれています。

この4種のハーブが健康を気遣う方の手助けになります。

ヒメスイバ、ゴボウ、アカニレ、ダイオウを含む、アメリカ先住民ハーブティで、細胞の健康を応援しましょう。伝統的な処方で、細胞の機能を高めるようサポートします。

身体をきれいにすることで、糖尿病や癌、肥満等の予防と健康の維持をサポートします。

特に便秘が気になる方、お腹をきれいにしましょう。

ダイエット中の方にも副作用なく安心してご愛用いただけます。

C a s s i e - t e a

栄養補助食品（ディストリビューター会員用）

ニューウェイズのカシィティーバッグ【内容量：30袋入り箱50.1g】

成分：ヒメスイバ、アカニレ樹皮、ゴボウ、ダイオウ

煎じた場合、約7200mL

価格：(1.67g×30袋入り：50.1g) 1個

メーカーから直接購入で流通経費なし。 \$25,70 約¥3,000

別途、(国際品のため送料と関税等諸費用がかかります。)

国際品：カシィティーバッグ 製品番号2714



お召し上がり方：ティバッグ1袋をカップ1杯（240mL）程度のお湯に15分～20分浸した後、ティバッグを取り出し、冷蔵庫で冷やします。

1日4回（60mL）程度に分けて、その日のうちにお飲みください。

NEWAYS Distributor